

校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第10号	発行日	令和5年6月27日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ~地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して~		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

いよいよ総体……部活動壮行会

6月23日(金)6校時に部活動壮行会が行われました。各部の代表が大会等に臨む決意を発表しました。

私からは、校訓「盡己」(自分のベストを尽くす)と私の名前「克己」(自分に克つ)について話をしました。

どちらの言葉も「^{おのれ}己」(自分)に向いています。最終的に向かうのは対戦相手ではなく、自分自身です。全力を尽くし、勝っても負けても、悔いのないように頑張ってください。「勝つ!」より「克つ!」です。



令和5年度 伊丹市中学校総合体育大会 日程・会場一覧表

種目	日時	会場	運営責任者
陸上競技	6月17日(土)	スポーツセンター 球・フットボール 予備	栗生 桂治 (西中)
	6月18日(日)		
水泳競技	7月1日(土)	東谷中 東谷中 予備	永備 香織 (天王寺川中)
	7月2日(日)		
ソフトテニス	7月1日(土)	西中	今井 克己 (松崎中)
		7月2日(日)	
		7月8日(土)	
	7月1日(土)	スポーツセンター	甲斐 公美子 (南中)
		7月2日(日)	
		7月8日(土)	
卓球	7月1日(土)	緑ヶ丘体育館	關 幸子 (南中)
		7月9日(日)	
	7月8日(土)	緑ヶ丘体育館	藤原 遼太 (松崎中)
バレーボール	7月2日(日)	スポーツセンター 荒牧中 予備	吉井 裕輝 (北中)
	7月1日(土)	住友総合グラウンド	増田 健一 (西中)
バスケットボール	7月2日(日)	緑ヶ丘体育館	多田 英登 (東中)
	7月9日(日)	スポーツセンター 豊原中・松崎中 予備	横地 峻 (豊原中)
サッカー	7月1日(土)	スポーツセンター	八東 伸明 (荒牧中)
	7月2日(日)		
	7月8日(土)		
	7月9日(日)		
軟式野球	7月1日(土)	スポーツセンター	上田 誠司 (豊原中)
	7月2日(日)		
	7月8日(土)		
	7月9日(日)		
柔道	7月1日(土)	北中 予備	前田 徳三 (天王寺川中)
	7月2日(日)		
剣道	7月1日(土)	南中 予備	林田 佳子 (東中)
	7月2日(日)		
バドミントン	7月1日(土)	スポーツセンター	早崎 潤 (北中)
	7月8日(土)		
	7月9日(日)		
フットサル	7月1日(土)	南中	山崎 佳恵 (荒牧中)
	7月2日(日)		
	7月8日(土)		
大会本部	6月17日~ 7月9日	西中	増田 健一 (西中)

6月23日(金) 沖縄「慰霊の日」

壮行会が行われた23日(金)は「慰霊の日」でもあります。78年前、日本で唯一地上戦が行われ、^{まぶに}県民の4分の1(約10万人、兵士を合わせると約20万人)が亡くなった沖縄県。最後の激戦地となった糸満市摩文仁の平和祈念公園で追悼式典が行われました。式典では祖母から壮絶な沖縄戦の体験を聞き、育った高校3年生が自作の「平和の詩」を朗読しました。また、この日の給食は沖縄献立で、生徒会給食委員長が平和学習で学んだこととあわせて紹介してくれました。部活動や学習、給食など、普通にできることの大切さを感じながら読んでみてください。

「今、平和を問いかける」 沖縄県つくば開成国際高校3年 平安名秋

へいあんなあき

夏六月 溶けかけたアイスを手にとり出す 緑萌ゆるこの島の昼下がり
礎^{いし}に刻まれた「兄」に まるであの日のように そっと触れるおばあ^{いばあ}の涙は
陽炎が登る摩文仁の丘に ただ果てしなく広がっていく

その涙は体を包み込み 私を「あの日」へといざなう

限りないこの空は 何を覚えているのだろう
涙に満ちたおばあ^{いばあ}の瞳は 何を語りかけているのだろう

七十八年前の あの日 あの時
かけがえのない たったひとつの命が 憎しみと悲しみの中で 散っていった

名も無き赤子の 微かな 微かな泣き声は
震える母の手によって 冷たく光の無いガマの中で ^{はかな}儚く消えていった

幾多もの砲弾が 紺碧の海を黒く染める鉄の嵐となって この島に降り注いだ

戦争が起きる前 そこには日常があった

私達と同じように 原っぱを駆け回り 友達とおしゃべりをする
みんなで暖かいご飯を食べ 時には泣き 時には笑い 時には「ありがとう」を伝える

そんな今と変わらない日常が 平和が そこにはあった

平和は不確かだ 脆く崩れやすい
いつもすぐそばにあるのに いつのまにか消えていく

おばあ^{いばあ}の涙は 摩文仁の丘に永遠(とわ)に灯る平和の火は 今、私達に問いかける

平和とは何かを 私達に出来ることは何かを

私は過去から学び そして未来へと語り継いでいきたい
おばあ^{いばあ}の涙を 沖縄の想いを

かけがえのない人達を 決して失いたくはないから

今日も時は過ぎていく いつもと変わらずに

先人達が紡いできた平和を 次は私達が紡いでいこう

そして世界に届けていきたい 平和を創り 守っていく この沖縄の「チムグクル」(真心)を



6月23日(金)

沖縄献立

沖縄産の特産物を使用した献立です!!

黒糖パン 牛乳
鯖フライ
ゴーヤとハムの
マヨネーズソテー
もずくのスープ
スライスパン

6月23日は「沖縄慰霊の日」です。
昭和20年6月23日に沖縄戦の総戦況が終結したとされることから、沖縄県が制定しました。沖縄戦は太平洋戦争末期である昭和20年に日本軍と沖縄島に上陸したアメリカ軍を主体とする連合国軍との間で行われた戦いです。沖縄戦では、連合国軍と日本軍合わせて20万人以上の犠牲者が出たといわれています。そのうち、一般の犠牲者は推計で約10万人です。沖縄県民の4人に1人が命を落としたりした壮絶な戦いで、甚大な被害がありました。

～沖縄県の特産物～



ちある平和を幸せに思い、沖縄県の事を考える絶好の機会にしてください。